

百石幼稚園へようこそ

乳幼児期という、人生の基礎を築く最も大事な時期を、認定こども園百石幼稚園で過ごす皆様。ようこそ！この出会いを大変うれしく思います。

幼稚園の生活は何のためにあるのでしょうか？

お子様の育ちのものは、両親であり、家庭です。しかし親子関係では育ちあえない部分があります。その部分を担当するのが、幼児期の集団生活です。

子どもが子どもと一緒に生活するなかで、たくさんの学びが生まれます。親が与えられない学びです。心も体もすくすくと成長するのに欠かせないのが、子ども同士で夢中で遊び合う時間です。

遊びは学びへつながります。百石幼稚園は遊びを中心にして活動を進めています。

遊びが十分にできるようになるには、何が必要でしょうか？

それは、人への信頼感です。まず初めに、母親とのしっかりとした愛着形成が欠かせません。0歳までの育ちは、その後の育ちの土台になります。

ですから、百石幼稚園では0歳児のお子さんは、家庭にいるように、母の手元にいるように育てたい、と思っています。母親に変わることは決してできませんが、せめて園にいる時間は、母親のように安心できる世界として、存在したいからです。

0才時代をしっかりと愛着形成したお子様は、自分以外の人を信じることができるようになります。それは、自分を信じることでもあります。

その後は、大きな兄弟の中で過ごすように、周りの少し年上の子どもたちに大事にされながら、人とかかわる楽しみを覚えていきます。

大事にされた経験を持つ子どもたちは、同じように人を大事にしようとします。そこで、自分より年下の子どもたちの面倒を見たがるようになります。

成長が進むにつれ、より高度なより踏み込んだ内容で遊びたくなります。それが子ども同士の夢中で遊び合う時間です。

子どもの成長はすべてつながっています。どの時間も大事にして、子どもたちにベストな環境を整えていくこと、それが百石幼稚園の教育です。

子どもが育つと同時に、親も育っていきます。教諭も育ちます。関わる皆が前に進もうとする、そんな場所でありたい。百石幼稚園の願いです。

さあ、一緒に始めましょう。子どもがくれる素晴らしい時間の始まりです。